



上川井だより

4月号

平成 30年 4月5日
横浜市立上川井小学校
校長 山田 アイ子

「みんなの50周年に」

校長 山田 アイ子

3月17日(土)、17名の卒業生が上川井小学校を巣立っていきました。1年生の時から一人の転入生もなく、6年間を共に過ごしてきた17人の絆が伝わってくる卒業式でした。低学年にも優しく、笑顔で挨拶のできる17人は、毎日のように校庭や地域の公園に集まって遊ぶ子どもたちでした。中学校でも、自分を大切に、自分らしく歩いていくことを、心から願っています。

そして、新1年生20名を迎え、全校児童136名で平成30年度がスタートしました。入学式前日の4日には、新6年生が登校、入学式の準備をしてくれました。3月の修了式から、まだ2週間しか経っていないのに、すでに上川井小学校のリーダーとしての意識を感じました。「自分たちには、自分たちの良さがある、自分たちの味がある」ことに自信をもって、上川井小学校を支え、リードしてほしいと思います。32名の新6年生が、どんな成長をするのか、そして、どんな気持ちで1年後の卒業式を迎えるのか、今から楽しみです。きっと「前の6年生も素敵だったけれど、今年の6年生もいいね!」と、言われる6年生になると確信しました。

私は上川井小学校に着任して、4年目になりました。たくさんの方にご支援を頂きながら、あっという間に3年が過ぎました。地域との連携、一人一人の子どもを大切にされた教育活動に対し、平成29年度の「横浜市優秀教育実践校」に選出され、教育長から表彰状を頂きました。4年目も「学力向上」と「地域の中で学ぶ」を中心にした学校経営を進める中で、一人一人の子どもを大切に、よい面を認め、自分も友達も大切に子どもたちを育てていきたいと考えています。

また、今年度は都岡小学校から独立して50周年を迎える大きな節目の年になります。136人の子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、そして、教職員にとっても、上川井小学校らしい心に残る周年行事を創り上げたいと思います。

「上川井らしさ」…とは、一言でいえば「温かさ」です。日々の生活では喧嘩もありますが、学校がすき、友達がすきと感じている子どもたちです。学年を問わず、名前呼び合い、一緒に遊びます。苦手な学習があっても「わかるようになりたい」「できるようになりたい」と、思っ頑張る子どもたちです。友達の長所を見つけるのが上手な子どもたちです。人と人との関わりに「温かさ」を感じます。

3月の終わりに、50周年記念のキャラクターが投票で決まりました。4つの候補作品の中で選ばれたキャラクターは、ホームページでも紹介していますが、干支の犬・学校から見える富士山、校庭を取り囲む桜、豊かな緑など、上川井小学校の特徴を生かしたデザインです。残念ながら、選ばれなかった3つの作品も、同じように、上川井小学校の特徴を生かしたデザインで、どのキャラクターも優しさが伝わってくる表情をしていました。穏やかな心、温かい心の子どもたちだから考えられるキャラクターではないかと感じて、とても嬉しくなりました。

都岡小学校上川井分校時代が約50年、そこから独立して50周年。明治13年の上川井学校から始まった歴史や独立への思いを色々な場で感じます。「みんなの50周年に」を合言葉にして、平成30年度が子どもたちにとって、より良い一年になるように子どもたちと一緒に教職員も心をついて頑張ります。どうぞ、今年度も、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成29年度
優秀教育実践校として表彰

地域の方の協力のもと、安全教育を教育課程に位置付けた取り組み、一人一人の児童を大切にした特別支援教育、学力向上に向け全校での取り組んでいる家庭学習等が教育活動が成果を上げた学校として表彰されました。